

アウエナ ストリゴサ●●●●●●●●

ニューオーツ

キタネグサレセンチュウを強力に抑制!!



ニューオーツ

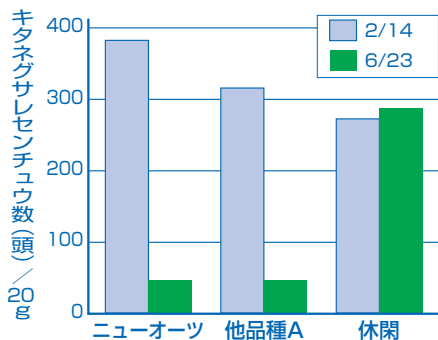
利用目的

- ダイコンやニンジン等の根菜類やレタス等を加害するキタネグサレセンチュウに対し、強力な密度抑制効果があります。
- ダイコン連作地帯では、キスジノミハムシの幼虫による被害を軽減し、忌避効果が得られます。
- 休閑畑に播種することにより、飛散防止と表土流亡抑制効果が得られます。
- 露地野菜、畑作物との輪作により作物の健全な生育を促し、ひいては病害虫の軽減につながります。

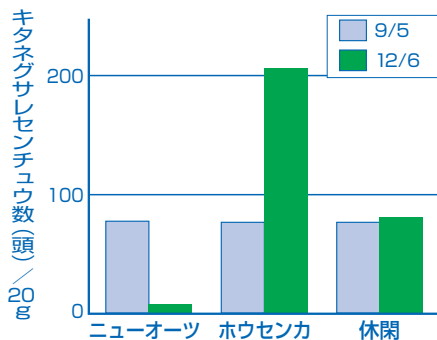
※「アウエナ ストリゴサ」とは、これまで一般的に「えん麦 野生種」として表現したものと同一意味です。

特性

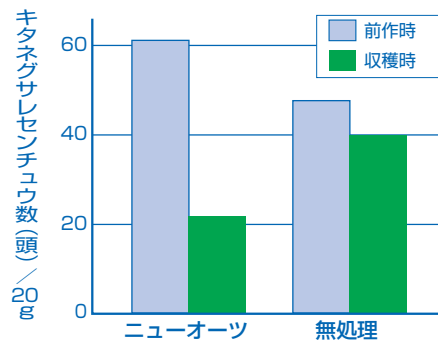
① キタネグサレセンチュウを強力に密度抑制します。



エンバクの一つ (A.strigosa) 作付けによるキタネグサレセンチュウ密度推移 (1回目ポット試験) (1994)
平成6年度群馬県園芸試験場研究成果発表会講演要旨より



エンバクの一つ (A.strigosa) 作付けによるキタネグサレセンチュウ密度推移 (2回目ポット試験) (1994)
平成6年度群馬県園芸試験場研究成果発表会講演要旨より



エンバクの一つ (A.strigosa) によるダイコンのキタネグサレセンチュウ防除効果 (1993~1994)
平成6年度群馬県園芸試験場研究成果発表会講演要旨より

② キスジノミハムシ被害を軽減します。

5月まきダイコンの前作エンバクとマルチ資材による

被害度 = $\Sigma(\text{程度別株数} \times \text{指数}) \times 100 / (\text{調査株数} \times 3)$
防除価 = $(\text{無処理被害度} - \text{処理区被害度}) \times 100 / \text{無処理被害度}$

奈良県農業技術センター・高原農業振興センター

| 前作作物 | マルチ資材 | 生育 | | キスジノミハムシ | |
|------|-------|------|-----|----------|-----------|
| | | 根長cm | 根重g | 被害株率% | 被害度 (防除価) |
| エンバク | 黒マルチ | 24.6 | 502 | 18.8 | 6.3 (93) |
| | 裸地 | 25.5 | 394 | 56.3 | 31.3 (67) |
| なし | 黒マルチ | 28.0 | 524 | 75.0 | 50.0 (48) |
| | 裸地 | 25.0 | 365 | 100.0 | 95.8 - |

エンバク 98年11月17日播種 99年4月10日すき込み
ダイコン 99年5月12日播種 7月1日調査 生育日数50日
※上記表中の「エンバク」は「ニューオーツ」です。

9月まきダイコンにおける前作エンバク栽培とマルチ資材による

奈良県農業技術センター・高原農業振興センター

| 前作作物 | マルチ資材 | 生育 | | キスジノミハムシ | |
|------|-------|------|------|----------|-----------|
| | | 根長cm | 根重g | 被害株率% | 被害度 (防除価) |
| エンバク | 黒マルチ | 35.5 | 1680 | 14.3 | 6.7 (85) |
| エンバク | - | 35.0 | 1584 | 25.0 | 12.5 (72) |
| なし | - | 36.3 | 1513 | 77.8 | 44.4 (-) |

エンバク 00年5月10日播種 00年8月15日すき込み
ダイコン 00年9月22日播種 11月28日調査 生育日数66日
※上記表中の「エンバク」は「ニューオーツ」です。

③ 豊富な有機質が得られ圃場に還元することができます。

・エンバクの一つ (A.strigosa) 生育調査 (1994)

平成6年度群馬県園芸試験場研究成果発表会講演要旨より

| 商品名 | 稈長 (cm) | 穂長 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 穂数 (本/m ²) | 生草収量 (kg/10a) | 乾物収量 (kg/10a) |
|--------|---------|---------|------------------------|------------------------|---------------|---------------|
| ニューオーツ | 112.5 | 23.0 | 3183.5 | 2267.0 | 6360.0 | 1608.0 |
| 他品種A | 109.0 | 22.5 | 1766.0 | 1323.0 | 4800.0 | 1114.5 |
| 他品種B | 107.0 | 22.5 | 1789.5 | 1024.5 | 4760.0 | 1072.5 |

播種日：3月15日、調査日：6月23日

④ 細茎、細葉で低温伸長性、初期生育が良好です。

播種期

| 地帯 | 作型と播種期 | すき込み期 |
|--------|--------------------------------|----------------------|
| 寒地～高冷地 | 北海道、東北、中部高冷地帯では4～9月上旬まで随時播種が可能 | 播種後60～70日後の出穂始期にすき込み |
| 中間地～暖地 | 春まき ➡ 3～5月 | 6～7月 |
| | 晩夏まき ➡ 8/下～9/中旬 | 年内すき込み |
| | 秋まき ➡ 10～11月 | 翌春すき込み |

播種量

10～15kg/10a

※ブロードキャスター等で播種後は、覆土、鎮圧を行ってください。
※線虫被害の常発畑では、密度抑制効果が高めるために15kg/10aとします。

施肥量

通常、無施用ですが、肥沃度の低い土壌ではN.P.K各4～5kgを施用します。

すき込み期

出穂始期を目安に、プラウ、ロータリー耕で2～3回行います。
すき込み後は、20～30日後に次作物の播種、定植をします。

カネコ種苗株式会社 緑飼部

〒371-8503 群馬県前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(253)0561 FAX. 027(290)1045
HP <http://www.kanekoseeds.jp>
Mail: ryokushi@kanekoseeds.jp

●取扱い店